

疫学・環境医学講座の紹介

指導責任者 教授 横道洋司
スタッフ 准教授 三宅邦夫
助教 堀内清華

当講座では、疫学研究を行っています。疫学研究では、患者さんや健康な人から病気や生活習慣、受けている治療についてのデータを頂き、それをコンピュータプログラムで分析し、結果を図や表にまとめて学会や論文誌上で発表する、ということを行っています。これにより、病気を予防する方法や、病気になった後の最良の治療法、病気を再発しないための方法が理解されます。医学は常に進歩していますから、患者さんが受ける治療、病気になった後の経過は時代とともに変わります。いつでも新しい研究テーマと発見があるのが疫学研究をする魅力のひとつです。



疫学研究の種となる研究アイデアは、普段生活するなかで疑問に思うことで構いません。普段意識している、しないにかかわらず、多くの人が思う疑問を、データを分析することにより解くと、それは大きな研究成果になることがあります。学会に参加して、臨床上解かれるべき研究アイデアをもらってくるのも良いでしょう。アイデアの想起からデータ分析、論文にまとめて発表するのは結構大変な作業です。しかしそれをやり遂げた時は大きな達成感が味わえます。

疫学研究の成果は、時に臨床医の先生が使う診療ガイドラインのエビデンス（根拠となる論文）となります。ガイドラインの根拠として採用されないまでも、たくさんの疫学研究・基礎医学研究の成果が積み上がることによって、医学の常識はできあがります。学生時代に疫学研究をした経験は、医師になり、自分が行う医療行為のエビデンスを探し、理解する時にきっと役に立つでしょう。卒業後に疫学者を目指すのもひとつの選択肢です。疫学という立場から、一緒に医学研究をしてみたい方は連絡をください。

連絡先：横道 (hyokomichi@yamanashi.ac.jp)